



平成30年5月7日

各 位

会 社 名 アイフル株式会社
代 表 名 代表取締役社長 福田 吉孝
(コード番号: 8515 東証第1部)
問 合 せ 先 財 務 部 長 三 石 潤
T E L 03-4503-6050

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年11月13日に公表いたしました平成30年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期通期の業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 103,700	百万円 8,800	百万円 9,100	百万円 10,000	円 銭 20.67
今回修正予想（B）	115,300	2,400	2,800	3,900	8.06
増減額（B－A）	11,600	▲6,400	▲6,300	▲6,100	—
増減率（％）	11.2	▲72.7	▲69.2	▲61.0	—
（ご参考）前期通期実績 （平成29年3月期）	91,450	7,009	7,399	7,276	15.05

(2) 単体

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 64,200	百万円 6,400	百万円 7,000	百万円 8,400	円 銭 17.37
今回修正予想（B）	64,600	300	900	2,400	4.96
増減額（B－A）	400	▲6,100	▲6,100	▲6,000	—
増減率（％）	0.6	▲95.3	▲87.1	▲71.4	—
（ご参考）前期通期実績 （平成29年3月期）	58,339	3,587	4,090	4,823	9.98

2. 修正の理由

【連結】

前回発表した予想に対して、営業収益は116億円増加の1,153億円となる見込みです。当社グループの主力事業であるローン事業を始めとした各事業から得られる営業収益は概ね計画通りとなる見通しですが、これとは別に弊社子会社であるライフカードにおいてシステム開発の受注にかかる売上高128億円を計上することによります。

また、営業費用は180億円増加の1,128億円となる見込みです。上記システム開発の受注にかかる売上原価112億円を計上するほか、足元の利息返還の状況を踏まえ、123億円の利息返還損失引当金の追加繰入を行う一方、37億円の利息返還に伴う債権放棄にかかる引当金（貸倒引当金）の戻入れを行うため、86億円の利息返還関連費用を計上いたします。

以上の結果、営業利益は24億円（前回予想比64億円減）、経常利益は28億円（同63億円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は39億円（同61億円減）となる見通しです。

なお、ライフカードのシステム開発の受注については次のとおりであります。

システム開発にかかる利益は概ね見込まれていたものの、本件は大型プロジェクトであったこともあり、工数等に不確定要素が多く、変動が予測されました。そのため、業績予想の公表には慎重を期し、予想可能であった「利益」を、システムが完成する当連結会計年度の「その他営業収益」で取り込んでおりました。

こうした中、予定通り、本年3月にシステムが完成したことを受け、確定した「売上」128億円を営業収益に、「原価」112億円を営業費用に、それぞれ総額計上するものです。なお、本件にかかる「利益」は概ね変更ございません。

【単体】

営業収益は概ね計画通りとなる見通しですが、営業費用においては、連結同様、123億円の利息返還損失引当金の追加繰入を行う一方、37億円の利息返還に伴う債権放棄にかかる引当金（貸倒引当金）の戻入れを行うため、86億円の利息返還関連費用を計上いたします。

以上の結果、営業利益は3億円（前回予想比61億円減）、経常利益は9億円（同61億円減）、当期純利益は24億円（同60億円減）となる見通しです。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後の精査結果等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上